

熱中症対策システムによる、危険状況の見える化



① システムの設置状況



② センサー部分

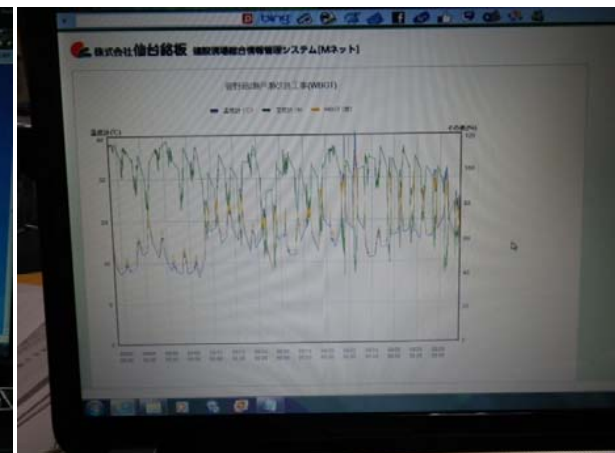
熱中症指標の国際規格WBGTをリアルタイムに計測・記録し、危険水準に達した段階で休憩を促すメッセージを鳴動しパトランプが作動するとともに、離れた場所の関係者にも警戒メールを一斉送信し作業の中断(休憩)を行う。



③ 携帯電話等での状況確認



④ パソコンによる状況確認



⑤ パソコンによる計測記録値の確認